

理学研究科将来計画・研究推進グループ
平成16年度採用

◆ 08:30 出勤

前日のメモに基づき一日の業務の優先順位を確認し、予定を立てる。その後、メールの確認・返信、各種書類に目を通す。

◆ 10:00

物品購入等の伝票類のチェックをし、支払いの手続きを進める。受託研究は契約ごとに購入できる物品などが異なり、情報を整理しておかなければ後々研究費を返還しなければならない事態となることもあるため、注意が必要な作業。

◆ 11:00

午後からの受託研究契約相手先の経理検査の準備。検査をスムーズに進めてもらえるよう、提出書類、証拠書類及び参考資料に不備はないかの最終チェックを行う。

◆ 12:00 昼休み

◆ 13:00 受託研究中間実地検査対応

研究費の執行に関する帳票や証拠書類のチェックを受け、相手方からの質問の受け答えをする。詳細で納得のいく説明を求められることがあるため、緊張する時間。

◆ 16:30

検査で指摘された事項を確認して取りまとめる。調査後回答しなければならない事項の調査準備を行う。

◆ 17:30 退勤

◆ 19:00 勉強会打ち合わせ

勤務時間外に活動をしている若手勉強会※の幹事役メンバーと夕食をとりながら、今後の勉強会の企画について打ち合わせを行う。

※若手勉強会：自称若手の職員がお互いの業務について情報を交換したり、学内・学外問わず講師を招いて様々な職種のことを学ぶ非公式の勉強会。

◆ 京都大学を志望した理由

総合大学であるため、様々な分野にふれることができ、自分の新たな可能性が発見できるのではないかと、さらには自由の学風ゆえ、何か新しいことに挑戦することができるのではないかと考え、京都大学を志望しました。

◆ 現在の仕事について

京都大学では様々な外部資金を受け入れています。その中でも理学研究科に所属する教員の研究に関する受託研究・共同研究・寄附金の受入や執行の業務に携わっています。外部資金は種類によってその使用ルールが異なり、研究費がそれぞれのルールに従って執行されているかどうかをチェックするのが日常的な業務としています。

◆ 仕事で心がけていること

どのような仕事でもそうですが、自分の仕事の先にいる「人」を意識するようにしています。受託研究などの計画書で研究内容を目にすることがありますが、自分の仕事はこのような素晴らしい研究をする人につながっているのだと思うと、やりがいを感じることができます。

◆ 京大職員としての今後の目標

京都大学を構成する様々な立場の人たちのことを知り、学生を含む構成員同士の架け橋、また学外の方との架け橋の役目を果たせる職員となれるよう見識を高めていきたいです。